

## 第6回年次大会・研究発表会のご報告

2013年9月23日

会長 徳永善昭

大会企画担当常任理事 浅田孝幸

大会実行委員長 咲川 孝

国際戦略経営研究学会 第6回年次総会・研究発表大会は「戦略経営と人的資源管理」という統一論題のもとに、9月21日（土）と22日（日）の2日間、新潟大学 五十嵐キャンパス、駅南キャンパス・ときめいとにて開催され、活発な討論が繰り広げられました。

年次総会・研究発表大会それぞれの内容は下記の通りです（詳細については総会資料・報告要旨集をご覧ください）。

### 1. 年次総会

以下の議題について、9月21日開催の理事会の議を経て総会で審議し、いずれも承認されました。

#### (1) 平成24年度事業報告および収支決算についての事項

事業報告として以下の委員会の報告が行われ、収支決算について承認されました。

- ① 総務企画委員会活動
- ② 大会企画運営委員会活動
- ③ 渉外・国際委員会活動
- ④ 研究部会活動（開催回数）
  - ・戦略経営理論・実践共催研究会（8回）
  - ・戦略的人的資源・組織開発研究会（3回）
  - ・グローバル戦略部会（2回）
  - ・製品・サービス開発戦略研究会（1回）
  - ・戦略財務・会計研究会（2回）
  - ・関西（政策・戦略）研究部会（1回）
- ⑤ 学会誌編纂委員会活動
  - ・JOURNAL OF STRATEGIC MANAGEMENT STUDIES（査読ジャーナル）の発行  
Vol. 4, No1, 2 を2013年6月に発行。Vol. 5, No1, 2 を2013年9月に発行予定
  - ・『戦略経営ジャーナル』（電子ジャーナル）Vol. 2 No1 を2012年12月に発行。  
Vol. 2 No2 を2013年7月に発行。

(2) 監査報告についての事項

学会会則第31条に従い、花枝英樹、鈴木研一監事の監査を受け、「決算報告書は収支支出の状況及び財産の有りを正しく示している」ことが報告されました。

(3) 平成25年度事業計画および収支予算についての事項

これまで通りの研究会活動、学会誌の発行を継続して行うことが確認されました。

(4) 会費の改訂

「付則 第2条」の改訂が承認されました。

準会員（大学院生）の会費を「5千円」に改訂

改訂の目的：学会の財政状態が十分でないため

(5) 監事の選任

次期監事として次の2名が推薦され承認されました。

白田 佳子 氏（筑波大学 教授）

田中 敏行 氏（国士舘大学 教授）

(6) 会員数の現状について

正会員数 262名

準会員数 72名

合計 334名

(7) 来年度の全国大会開催について

来年度の年次大会の開催校については調整中である旨ご報告がありました。

(8) 理事選挙について

「役員選任規定 第12条」に従って選挙管理委員が選出され、選挙管理委員のもと理事選挙が実施されました。新理事に選出された方々は以下の通りです（順不同）。

井原久光 井上善海 石川伊吹 牛丸元 薄上二郎 大野富彦 大島正克

長内厚 北島啓嗣 桑山三恵子 桑名義晴 近藤信一 咲川孝 佐野享子

高橋浩 高橋宏幸 高橋義仁 玉木欽也 中村潤 永島暢太郎 西尾弘一

平松庸一 古屋紀人 室勝弘 Remy Magnier-Watanabe（以上25名）

(9) 会長、常任理事の選出

大会2日目の9月22日に開催された新理事による第1回の理事会において、

「役員選任規定 第12条」に従って次の役員が選出されました。

会長：高橋宏幸

常任理事：薄上二郎 河合忠彦 咲川孝 徳永善昭 西尾弘一 平松庸一

古屋紀人

## 2. 第6回年次大会の報告（プログラムは大会資料ご参照ください）

2013年9月21日（土曜）と、22日（日曜）に、新潟大学で第6回年次大会が開催されました。まず、この度、新潟にまでお越し頂いた方々にお礼を申し上げます。また、新潟大会開催までにわたってご支援してきて頂いた方々にお礼を申し上げます。

昨年、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにて、本年度、新潟大学での第6回年次大会開催が決定されて以来、同僚の平松庸一先生（大会事務局）とともに、この一年間、開催に当たって準備をしてまいりました。

21日には、五十嵐キャンパスにて、22日には駅南キャンパス・ときめいとで開催されました。大会前日の9月20日（金曜）には、地元企業見学会が開催され、燕市、長岡市の企業に当学会会員6名が参加されました。当学会は、これまで東京都内、そして昨年の滋賀県のびわこ・くさつと、大都市、あるいはその近辺での開催でしたが、この度、地方都市、新潟市での開催でありました。大会の1週間前には、台風が接近し、各地で大荒れでありましたが、会員の想いが通じたのか、9月21日、22日、そして企業見学会の20日の3日間とも、快晴の秋晴れに恵まれました。

大会には、合計、85名（非会員のパネリスト2名、新潟大学からの非会員一名のコメントーターを含む）が参加されました。そして、手伝いの新潟大学の学部生、記念講演者2名、参加した会員と一緒にきた友人などを入れると、会場には、100名近くが来場したと思われまます。

今回は、大阪大学の関口先生を基調講演者として、英語でのパネルセッションが実施されました。さらに、英語セッションのなかでいくつかの報告がなれました。これらは、当学会での初めての試みでした。その他、従来通り、一般セッション、院生セッションが開催されました。さらに、地元、朝日酒造株式会社からの方々による、記念講演がなされました。これら、すべてを含むと、合計、40報告がなされました。そして、それぞれの報告にコメントーターがついて頂きました。パネルセッションでは、パネリストに加えて、討論者、チェアが参加しました。このような新規な試みをして、多くの報告がなされた新潟大会は、これらの報告者、コメントーター、チェア、討論者、記念講演者、そしてその他、多くの参加者からの貢献、ご支援がなければ、実現していませんでした。大会実行委員長として、これらの人々に心より感謝を申し上げます。

会員総会の後には、懇親会が開催されました。徳永前会長の挨拶、青山学院大学の林先生の乾杯の音頭の後、地酒が振るわれ、地元の料理が出され、会員の間で歓談がなされ、旧交を温めました。

大会実行委員長を担当させて頂き、さらに当学会の今後の課題がみえてきたものがありました。まず、第一に、学会の国際化です。パネリストの Remy 先生が懇親会の場でいったように、当学会は、”International” Academy of Strategic Management の名の通り、「国際」学術団体ですので、もっと国際化する必要があると思われます。今回、はじめの英語セッション、パネルを実施して、非日本語圏からの研究者、実務家が参加しやすくなったことが分かりました。それをさらに促進すること必要であると思いました。第二に、国内外からの非会員がもっと多く参加することです。これまで、非会員は口コミを通してのみ学会の開催を知り、参加していました。今後は、当学会 HP などを通じて学会の開催を案内して、国内からだけでなく、海外からの非会員の参加を増やすことが重要だと思われます。そのためには、学会開催情報、報告の形式内容などを英語にする努力が必要でしょう。

最後になりましたが、当学会のますますの発展、さらに会員の皆様の一層のご健勝、ご活躍を祈念致しております。

第 6 回全国大会 大会実行委員長 咲川 孝

### 3. 地元企業（武田金型製作所、パナソニック・エコソリューションズ）見学会報告

新潟大学での第 6 回年次大会・研究発表会に先立ち、9 月 20 日（金曜日）、新潟県燕市、産学地域連携推進機構、及び新潟大学との連携にて、地元企業（武田金型製作所、パナソニック・エコソリューションズ）への見学会が行われました。

当日は、新潟大学・嶽岡悦雄特命教授、燕市商工観光部・柄澤兼二副参事、大関貴資主任の引率の下、学会からは 6 名が参加し、まず、武田金型製作所を訪問しました。伝統的な金型製造現場の見学の後、その金型製作における精度・加工技術と周辺の金属加工技術を活かした名刺入れや iPhone ケースなどの製造・販売の新規事業についてご説明いただき、意見交換をしました。武田金型製作所は、日本製高級カメラに採用されていた同社の金属加工技術が Apple 社の目に留まり、かつて iPhone などの部品製作を請け負っていた企業です。その後、Apple 社がそのノウハウを吸収し、より安く提供できる中国の工場に発注を移管するという厳しさを経験する一方、その技術を活用して本体と同じ質感の iPhone ケースを販売する逞しさを身につけたのだと理解しました。

地場産業振興センターでの昼食をはさみ、地元企業関係者など午後からの参加者を加え、午後はパナソニック・エコソリューションズを訪問しました。同社は、国内市場の成熟化、LED の普及とそれに伴う低価格化という経営環境の変化とともに、まとめ生産から需要対応型生産への抜本的な変更を行いました。生産現場は、セル型生産方式や分業型との混合方式を柔軟に採用しており、今後も現場からの提案をもとに改善を続けていくとのことでした。また、工場見学の後、新興国メーカーによる技術的キャッチアップの可能性などに関して意見交換をしました。QC サークルなどによる生産プロセス面での改善とともに、生活シーンによって光の質感を変えるなどの、LED の技術特性を生かした製品面での新提案

によって差別化をしていくと理解しました。

今回は、学会として、年次大会・研究発表会の開催地の企業を訪問するのは初の試みでしたが、地元企業の生産現場を見せていただき、そこで働く方々、それをサポートする市の関係者、同じ地元の企業の方々と意見交換する貴重な機会となりました。日本には、卓越した技術や、オペレーション・プロセスを改善する能力を持った企業がまだまだたくさん存在します。そのような資源や能力を競争力に結びつけるための戦略、また、環境変化をとらえ、既存の資源・能力を組み替える戦略の必要性を再認識しました。

今回の訪問を受けてくださった武田金型製作所、パナソニック・エコソリューションズ、そして企画・支援してくださった、新潟大学、産学地域連携推進機構、及び新潟県燕市の関係者の皆様に深く感謝いたします。

木村 剛



## 大会プログラム

**【9月21日（土）】 会場：新潟大学 五十嵐キャンパス・人文社会科学系棟**

受付

8:30～	場所 B122
-------	---------

**午前：自由論題セッション 9:00～11:00 報告 25分，質疑 15分**

	会場 B331 司会 林 伸二（青山学院大学）
9:00～9:40	看護師のバーンアウトに関する変容過程 平松庸一（新潟大学）・加藤栄子（群馬県立県民健康科学大学）
9:40～10:20	プロジェクトとプログラムドリブンの予算管理のアクション・リサーチー従業員の動機付けの視点から 中村正伸（アビームコンサルティング（株））

	会場 B227 司会 井原久光（東洋学園大学）
9:00～9:40	同業種会社間の水平統合による合併成果と課題に関する考察 室 勝弘（リコージャパン株式会社）
9:40～10:20	製品プロダクトサイクルに対応したヒューマンマネジメント 山本邦雄（横河ソリューションサービス）
10:20～11:00	ルーチン活動のダイナミズム - ダイナミック論の側面から 中村潤（ボルボグループ）

	会場 B226 司会 山本秀男（中央大学）
9:00～9:40	金融サービス参入企業のダイナミズムーダイナミック戦略・ケイパビリティ論による分析ー 西尾弘一（みずほ情報総研株式会社）
9:40～10:20	顧客の個人的特性が顧客満足の規定要因に与える影響についての実証研究 山脇香織（戸田中央医科グループ）

	会場 B124 司会 永島暢太郎（東海大学）
9:00～9:40	不公正感の発生と緩和の要因～ワーク・ライフ・バランス施策における検討 高村 静（東京大学社会科学研究所）
9:40～10:20	SCMにおけるパートナーシップ並びにCSRに関する研究 松浦清一（名古屋商科大学大学院）

**午前：院生セッション 10:30～12:30 報告 25分，質疑 15分**

	会場 B331 司会 玉木欽也（青山学院大学）
10:30～11:10	民営化後に顕在化した問題 鳥羽章夫（新潟大学）
11:10～11:50	「場のマネジメント」理論の背景 井上賢司（明治大学）・榊 美菜（明治大学）
11:50～12:30	金融情報システム障害の再発防止についての一考察 遠藤正之（慶應義塾大学）

	会場 B227 司会 丹沢安治 (中央大学)
11:10~11:50	Weickのイナクトメントにおける間主観性の問題 星井進介 (新潟大学)
11:50~12:30	ネットワーク理論の視点による地域中小企業間連携構造の考察 渡貫正治 (新潟大学)

	会場 B226 司会 浅田孝幸 (立命館大学)
10:30~11:10	エクイティ・ダイナミズムに関する研究 西入雅雄 (筑波大学)
11:10~11:50	中国企業における配当政策の観点から見た株式市場からの資金調達 仲 伯維 (亜細亜大学)
11:50~12:30	固定客による収益変動抑制メカニズムに関する実証的事例研究 小村亜唯子 (明治大学)・齊藤毅 (明治大学)・鈴木研一 (明治大学)

	会場 B124 司会 北島啓嗣 (福井県立大学)
10:30~11:10	薄型TVビジネスの成功要因の分析—ダイナミックケイパビリティの観点から— 千歳 学 (中央大学)
11:10~11:50	東日本大震災における水産業復興特区構想の課題と可能性 大谷美友 (立命館大学)
11:50~12:30	産業構造の特殊性がもたらす企業のイノベーション・プロセスへの影響 阿部靖史 (早稲田大学)

午後：パネルセッション 13:30~16:25

統一論題 戦略経営と人的資源管理 (strategic management and human resource management)

※ このセッションは英語で行われますが、参加者は日本語で質問されても結構です。

	会場 B331 司会 古屋紀人 (University of Missouri, St. Louis)
13:30~14:10	基調講演： Management fashion and strategic human resource management 基調講演者・パネリスト 関口倫紀 (大阪大学)
14:10~14:40	Globalization and Issues in SHRM: What's really needed for Japanese companies and the role of Japanese universities パネリスト 久原正治 (昭和女子大学)
14:40~15:10	Knowledge management for strategic management パネリスト Remy Magnier-Watanabe (筑波大学)
15:10~15:20	休憩
15:20~15:50	Strategic human resource management: Review and a future direction パネリスト 咲川 孝 (新潟大学)
15:50~16:05	討論者からのコメント、質問 討論者 徳永善昭 (亜細亜大学)
16:05~16:20	会場からのコメント、質問

会員総会, 役員選挙, 懇親会

16:30~17:20	会員総会 (場所 B331)
17:20~17:40	役員選挙 (場所 B331)
18:00~19:30	懇親会 (場所 第1学生食堂)

【9月22日（日）】 会場：新潟大学 駅南キャンパス・ときめいと

受付

9:00～	場所 エントランス付近
-------	-------------

午前：英語セッション 9:30～10:50 報告 25分，質疑 15分

	会場 講義室 A 司会 徳永善昭（亜細亜大学）
9:30～10:10	A study on a new dominant logic for DSMs (drawing supplied manufacturer) in the global market 光山博敏（福井県立大学）
10:10～10:50	Mechanistic organization adapting to turbulent industry 長内 厚（早稲田大学）

	会場 講義室 B 司会 岸 保行（新潟大学）
9:30～10:10	Mediation effect of person-organization value fit under transitional economy: the case of Vietnam and Mongolia 山崎京子（神戸大学）
10:10～10:50	変革時に埋め込まれた組織プロセスとその後の戦略転換との相互関係： ダイナミック・ケイパビリティの視点から 木村 剛（中央大学）

	会場 ミーティングルーム A 司会 永池克明（久留米大学）
9:30～10:10	The dynamics of managing in the medical industry: Reframing for effective management 福島正義（新潟大学）
10:10～10:50	多面市場における水平的競争優位の研究 高桑健太郎（中央大学）

午前：英語セッション 10:55～12:15 報告 25分，質疑 15分

	会場 講義室 A 司会 白田佳子（筑波大学）
10:55～11:35	産学連携による「グローバル製品戦略」の学術分野の創成とその人材育成 玉木欽也（青山学院大学）
11:35～12:15	Responsibilities of top managements in the flat-panel TV wars: An analysis based on the new DC framework 河合忠彦（中央大学）

	会場 講義室 B 司会 高橋義仁（専修大学）
10:55～11:35	Longitudinal research on a model of global competency development for Japanese managers 古屋紀人（University of Missouri, St. Louis）
11:35～12:15	Why is Singapore favored as the location of regional head-quarters? 安藤憲吾（中央大学）

午後：記念講演 13:15～14:00

	会場 講義室 A
13:15～13:55	基調講演 朝日酒造株式会社 松井進一（取締役参与広報管掌），平澤英隆（管理部長） 演題 「久保田の戦略」
13:55～14:00	質疑応答



午後：自由論題セッション 14:10~15:30 報告 25分, 質疑 15分

	会場 講義室 A 司会 岸田民樹 (中部大学)
14:10~14:50	マルチ・エージェント戦略的行動シミュレーション 野間口隆郎 (和歌山大学)
14:50~15:30	誰が新規事業の創造を担うのかー外部環境適合的なリーダーシップ選択ー 市川良紀 (パナソニック (株))

	会場 講義室 B 司会 吉田孟史 (青山学院大学)
14:10~14:50	水産特区における官民の競争と協業:「企業の境界」の観点から 早川 貴 (立命館大学)
14:50~15:30	CSR イニシャチブと 日本企業のグローバル経営 桑山三恵子 (一橋大学)

	会場 ミーティングルーム A 司会 歌代 豊 (明治大学)
14:10~14:50	モバイル・エコシステム間競争の経緯と今後 高橋 浩 (北陸先端科学技術大学院大学)
14:50~15:30	「固定収益会計の事例研究ー収益性分析と成長性分析をもちいてー」 石井宏宗 (サンシン電気)